

(別記)

令和2年度設楽町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は多くが山林という地域であり、鳥獣被害が多くみられる。山林付近の水田では鳥獣害による緩衝地としての自己保全管理も多くある。高齢化も進み、担い手の不足など農地の維持が問題としてあげられる。農地集積を行うとともに担い手への支援、鳥獣害に強い作物への作物転換などを行う必要がある。

地域の作物としては、水稻が多くを占めている。他にも道の駅や直売所などに並ぶ地元野菜等が振興作物として地域の農家を支えている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行う。

(2) 非主食用米

オ 加工用米

当該地域の加工用米は、地元酒造メーカーへの販売を中心に生産を行っていたが、近年は加工用米の需要の頭打ち状態が続いており、昨年度から減少に転じた。

しかしながら、地元の需要者との結びつきを強化するなどの改善を図り、今後も生産面積の維持につとめ、令和2年度は8.4haの生産を予定する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

高齢化が顕著な山間地域であり、大幅な面積増加は望めないが、水田のフル活用を図り、地域の活性化に繋げていくため、別紙「設楽町 取組品目」に掲げる野菜、花き、果樹を地域振興作物と定め、高収益作物への作付転換と振興を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	222ha	222ha	222ha
加工用米	20.2ha	8.4ha	8.4ha
その他地域振興作物	32.6ha	33.6ha	33.6ha
・野菜	31ha	32ha	32ha
・花き	1.3ha	1.3ha	1.3ha
・果樹	0.3ha	0.3ha	0.3ha

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	高収益作物 （野菜（トマト及 びミニトマト） （基幹作）	エコファーマーによ る高収益作物（野 菜）の取組に対する 助成	取組面積	(2019年度) 2ha	(2020年度) 2.4ha
2	高収益作物 （野菜、花き、果 樹） （基幹作）	高収益作物に対する 助成	取組面積（野菜） （花き） （果樹） （計）	(2019年度) 11.0ha 1.1ha 0.1ha 12.2ha	(2020年度) 13.5ha 1.3ha 0.3ha 15.1ha
3	加工用米 （基幹作）	加工用米（地域流 通、チヨニシキ）に 対する助成	作付面積	(2019年度) 20.2ha	(2020年度) 8.4ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり